

令和2年度第15回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和2年11月24日（火）13：15～13：34
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 <教育委員会>
長田教育長
山本委員 梶木委員 今井委員 正司委員
<事務局>
長谷川事務局長兼教育次長 住谷教育次長 工藤総務部長
松本教職員人事担当部長 竹森学校支援部長 藤原学校教育部長
羽田野学校計画担当部長 山下総合教育センター所長
- 4 欠席者 伊東委員
- 5 傍聴者 0名（一般0名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（長田教育長）

それでは、ただいまから教育委員会会議を始めます。

本日は議案3件、協議事項3件、報告事項が2件です。

まず、非公開事項についてお諮りをいたします。このうち、協議事項42、報告事項2につきましては、教育委員会会議規則第10条第1項第2号により、人事に関する事。教第44号議案、教第45号議案、教第46号議案につきましては、同規則第10条第1項第3号により、長の作成する議会の議案に関する事。報告事項1につきましては、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものにそれぞれ該当すると思われますので、非公開としてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

（賛同）

（長田教育長）

それでは、以上、非公開にすることといたします。

協議事項26 市立学校園における新型コロナウイルス感染症対策等について

（長田教育長）

それでは、協議事項26からになります。市立学校園における新型コロナウイルス感染症対策等についてです。

それでは、お願いします。

(澁谷学校環境整備課長)

学校環境整備課澁谷でございます。まずは、新型コロナウイルス中の換気について御説明させていただきたいと思っております。資料で表めくっていただきまして、1ページ目、こちら文部科学省からの通知になりまして、真ん中に題名が、新型コロナウイルス感染症対策の徹底等についてとありまして、そこから1、2、3、4、5行目ほど下りたところなんですけど、今後改訂する衛生管理マニュアルというものが、また出されることになっておりまして、詳しくはそちらが出てから検討することになるとは思います。1枚めくっていただきまして、3ページ目に、こういう図がございますが、こちらのほうにですね。まあ真ん中あたりに換気の実施ということで、機械換気が望ましいんですけど、機械換気がない場合は、常時窓開けということで、窓を少し開け、室温は18度以上を目安とございます。冬は寒くなりますので、換気は必要なんですけど、一方で寒さ対策も必要だということで、この辺りですね。ちょっとどういった具合にしていくかということを考えていくのと、あと、寒くなるので、例えば、通常であれば、教室の中ではコートとかは通常は着ないんですけど、そういう対策等も考えていくのかなというように思っております。ちょっとまだこういった次第でできてないんですけど、次のページ、4ページ、5ページは、夏になったときの熱中症対策ということで、その5ページ目が換気、一番最後のページが換気が中心になんですけど、これを基本に、また、その寒さとどう突き合わせていくかというような通知を出すことになるかと思っております。

この件に関しては、以上です。

(山出総務課長)

あと、資料、すいません。一番最後のページ、6ページには、感染状況の一覧表をつけてございます。下のグラフが全体的な神戸市における感染者数の状況ということで、第3波といいますか、かなり増えてきてるのが伺えるかと思っております。上段にございます表のとおり、昨日までで児童生徒等79名、教職員9名ということで、前回、11月3日に御報告したときは、児童生徒数等が60名ということですので、1週間強の間に19名増加してるというのが現状でございます。

以上でございます。

(長田教育長)

なお、これに関して今後の方針に当たる内容につきましては、教育委員会会議規則第10条第1項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものに該当すると思われまますので、後ほど非公開の場で協議をしたいと思っております。

が、よろしいでしょうか。はい。

では、この場では、今後の方針以外の部分で、先ほど説明があった内容等について御意見等があれば、お願いをしたいと思います。

どうぞ。

(梶木委員)

機械換気が望ましいということなんですけれども、例えば、学校の中で教室機械換気までされてるところは、ほぼない感じでしょうかということも1点と、例えば、保健室とか、どうしてもその子供たちが、もし運ばれたときに、余りにも寒い環境とかがあってということになるとよくないような、そういう保健室なんかは、機械換気が入ってるのかどうかと、エアコンが新しく今計画中の学校などでは、この換気のシステムどう考えておられるのかを教えてくださいませんか。3点ですね。

(武田学校環境整備担当課長)

はい。1点目の機械換気につきましては、平成14年にシックハウスの問題が発生しました。その際に、それ以降は工事、大きな工事をする学校につきましては、あわせて普通教室、特別教室等には機械換気を入れてございます。

(梶木委員)

保健室は、その機械換気が完備されてないところでも、全ての学校で、そういう対応をされているのかどうかということはどうですか。

(武田学校環境整備担当課長)

すいません。機械換気、保健室につきましても、同様にある学校とない学校というようには分かれてきてしまいます。

(梶木委員)

今後の学校建築が、いろいろと建替えとかもあるんですけど、その際には、今の分も全て。

(武田学校環境整備担当課長)

もう全てつくようになります。

(梶木委員)

全ての教室に入ると。

(武田学校環境整備担当課長)

全ての教室に入ります。

(梶木委員)

分かりました。ありがとうございました。

(梶木委員)

ちなみに、その各教室に機械換気が入っている、普通教室でしたよね。

(武田学校環境整備担当課長)

はい。

(梶木委員)

率としては何%ぐらいになるんですか。平均。

(武田学校環境整備担当課長)

そうですね。これ、私も調べたんですけども、なかなかちょっとデータとして整理ができておりませんので、ちょっと今後、その辺については、ちょっと整理はしていきたいなと考えてございます。

(梶木委員)

ありがとうございます。ここの教室は機械換気できてるよっていうことを、多分学校の先生方に教えてあげると、必死で何か寒い中、窓開けなくても済むのかもしれないので、ここの教室は該当してますみたいなのを、何らか周知してあげれたらいいかなと思うんですけど、それはできる。

(武田学校環境整備担当課長)

ありがとうございます。そうですね。スイッチがついておりますので、ちょっとそれを確認してくださいというような周知はさせていただきます。

(梶木委員)

はい。じゃ、お願いします。

(武田学校環境整備担当課長)

ありがとうございました。

(今井委員)

すいません。防寒の件で、どうしても換気をする上で寒さ、寒さ対策ということで、先ほどコートを羽織らせたりというのもお話あったんですけど、本当に今年は、これまでと違いますので、しっかり呼びかけていただいて、そのコートだけじゃなくて、例えば、これまでだったら、もしかしたら、持ち込みが認められてなかったようなカイロであるとか、ネックウォーマーであるとか、あるいは、女子だったら黒のタイツを履いたりとかで大分違ってきますので、そういうのを、ぜひ学校によってあんまり温度差がちょっと差が出ないように、ぜひしっかり本当に持ってきていいんだよ、つけてきていいんだよっていうのを幅広く子供さんに呼びかけていただけるような体制を取って、寒さと換気をした教室の寒さ対策を図っていただけたらっていうふうに思っています。

(澁谷学校環境整備課長)

その辺り配慮しながら方針を決めていきたいと思います。

(山本委員)

基本的な質問で申し訳ないですけども、この感染防止等のポイントのこのプリントの5つの場面の1から4まで非常に具体的ですと分かるんですけど、場面5の居場所の切り替わりというのは、これは具体的には、どういうことなんですか。

(澁谷学校環境整備課長)

すいません。これ確か、例えば、休憩室とかですね。そういう部分で、事務室とか教室はオーケーで、居場所の切り替えのことだと思うんですけど、休憩室行ったときに、非常に不特定多数の人がいて、そこにコロナのウイルスがあって、居場所が切り替わったときに移るリスクが高いというような中身だったと思います。はい。

(住谷教育次長)

喫煙所とか。

(長田教育長)

いわゆる執務中は、きちんと対策を講じてるんですけど、ちょっとした休憩時間に、皆で寄り集まって油断をして、そこで感染する例が結構あると。あるいは、喫煙所なんかがあるそうですね。ちょっとこれ、表現が何か分かりにくいね。居場所の何かね。趣旨、意味はそういうことです。

ほかにございませんか。

(梶木委員)

すいません。このコロナの新型コロナウイルスの感染が非常に拡大が見られた当初の頃に、特別支援学校とか特別支援学級では、非常に密になるっていうので、先生方も保護者の方も物すごく心配されたんですけども、印象で見ると、数字的にはお子さんはゼロですよ。何かこう対策として、すごく徹底されていることとかあって御存じであれば、それも教えていただけると、ほかの学校園に何か普及をさせていける知恵があるのかなと思うんですけど、いかがでしょうか。先生方、ここにおられる方。

(山出総務課長)

ちょっと私も聞き感じてたレベルなんですけれども、やはり保護者の方の意識が非常に特別支援学校なんかは高いと。逆に、何ていうんですかね。感染された方は、あんまり情報を出さないでくださいって言われる方が多いんですけど、逆に、持ちつ持たれつの関係で、ちょっともしかしたら危ないかもしれないといったら、こう連絡をそれぞれ保護者同士でも入れながら、早め早めにバスに乗らないようにされたりとかですね。かなり徹底されてるなというのは聞いてございます。特に本当に感染対策をどこまで気をつけてるかっていうところっていうのが、あとはマスクをする、手洗いうがいをするっていうのを、どこまで徹底してるかというのが、かなり重要なポイントになるみたいですので、その辺りが意識が高いというのはあろうかとは思いますが、他は、特に、はい。

(正司委員)

これ、本当にいま分かればいいんですけど、この11月13日付けの文書に衛生管理マニュアルの改訂が行われるということも書いてあるんですけど、具体的にいつ頃それが来るのか、ないしは改訂の方向性の情報っていったものは、こちらのほうに来てる、その辺り、もし分かれば教えてください。

(竹森学校支援部長)

先週、文部科学省のほうに問い合わせしてるんですけども、今作業中だということで、はっきりした日にちまでは教えていただいております。

(正司委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかにございませんか。

よろしいでしょうか。

協議事項41 令和2年度自然学校について

(長田教育長)

では、次に移ります。協議事項の41、令和2年度自然学校についてです。

では、簡単に説明をお願いします。

(赤木教科指導課担当課長)

失礼いたします。教科指導課赤木でございます。令和2年度自然学校について御報告いたします。例年でしたら4泊5日で5月から実施しておりましたが、今年度は新型コロナウイルスのため、1学期は見送るということで、再度計画を立て直していただいて、2泊3日や、3日間の活動として実施しております。実施校ですけれども、163校全ての学校で実施しております。2泊3日で実施した学校が159校、ハチ高原、神鍋、美方のほうに行っております。泊数を減らし1泊2日と日帰り、1日をした学校が3校ございます。行き先はそちらに書いてあるとおりです。それから、日帰りを3日間した学校が1校あります。

実施時期ですけれども、この11月で泊を伴う自然学校は、今年度全て終了しております。12月以降は、日帰りの実施校が2校残っているというような状況です。

コロナ感染防止対策としては、バスの台数を増やす、休憩場所を増やして換気を徹底すると。それから、部屋の数を増やし、部屋の窓は常時開けると。それから、食事も全員一方向を向き、個別のセットメニューであるということ。それから、入浴も5人ずつと人数を減らして時間をかけて入浴のほうをさせております。それから、プログラムのほうですけれども、密にならないように、1人飯盒炊爨等、1人でできるプログラムを工夫して実施しております。キャンプファイヤーも、通常の盛り上がるようなキャンプファイヤーではなく、火を見る会等を設定して、プログラムをさまざまな工夫をして取り組んでおります。今のところ現地での感染者はおりませんでした。保護者、それぞれ学校のほうで引き取りもしております。例年と比べると、制限はあったけれども、そこでしかできない体験を施設の協力を得て十分に行うことができた。それから、学校では見られない、子供たちの笑顔が見られた。それから、非日常体験を十分に経験することができて、それぞれの活動に多くの子供たちが感銘を受けていた。それから、個別でする活動なんだけれども、子供たちがそれぞれ同じ場所で一緒に友達とやっつてることで、共に笑ったり、笑顔であったりとかいうことで、大きな楽しさを感じていたというふうなところです。

以上で、報告のほう終わらせていただきます。

(長田教育長)

これにつきましても、先ほどの協議事項26と同様に、今後の方針に係る内容については、後ほど協議したいというふうに思っておりますが、よろしいでしょうか。この場では、その今後の方針以外の部分について、御意見、御質問があれば、お願いをしたいと思います。

これ、実施時期に、あの校数を全部オーケーした。168校ですけど、先ほど若干説明あったかもわかりませんが、実施校数163校っていうのは、この差をちょっともう一度説明してください。

(赤木教科指導課担当課長)

はい。実施校数は163校なんです。この実施校につきましては、1泊2日の実施時期と、それから、日帰り1日は別日で行っておりますので、その関係で、3校と1校の分の数がちょっと増えておりますけれども、実施した校数ということで、はい。そのように説明させていただきます。

(長田教育長)

何かございませんか。

(今井委員)

差し支えなければ教えていただけたらと。日帰りっていうのにされた理由とか、保護者の声とかですか。

(赤木教科指導課担当課長)

もともとこの学校、冬場に自然学校に行く予定にしております、その関係上で、やっぱり冬場はちょっと難しいだろうということで、日帰りを3日間、選択したというような形で変更しております。

(梶木委員)

同じく、そういう意味では、その1泊2日と日帰り1日の3校がありますよね。

(赤木教科指導課担当課長)

はい。

(梶木委員)

自然の家プラス、ネスタリゾートと、まあちょっと神戸に行きやすい距離のところ、あえてこれを選ばれたのは。

(赤木教科指導課担当課長)

一応、地域的な感染状況等もあって、その学校で決められたところ。それから、事前に保護者のほうに感染等がありましたので、アンケートを取って、そこでやっぱり1泊2日という意見が多かったの、その中でちょっと計画を立てられたというようなところでご

ざいます。

(山本委員)

非常に難しい環境の中、日数が短くなったといえど、これまで以上に配慮を要する点や、工夫せねばならない点が多かった自然学校やったと思います。学校現場も苦勞したんやなというふうに思いますし、また、学校現場からも、先ほどお話のあったように、クラスメイトと楽しい思い出づくりにつながったとかということを含めた子供の願いを無にせず、この経験できる会を生み出したことは、子供たちの充実感や周囲への関心にもつながったというふうに聞いています。教育委員会事務局の子供たちに、まあ言ったら、有意義な体験を少しでもさせてあげたいという英断と、そのものを踏まえたことを感謝をしたいなと思います。ありがとうございました。

(長田教育長)

ほかよろしいでしょうか。はい。

それでは、本日の公開案件は、これで終了をいたします。

閉会 午後 1 時 34 分